

BPMツール(SAP Signavio®)の活用効果と利用方法

フォーティエンスコンサルティング株式会社
バリューアディドサービス担当
作成日：2024年4月24日

BPMツール(SAP Signavio®)の活用効果と利用方法

1. BPM (Business Process Management) とは？
2. SAP Signavioを効果的に利用するための3つのポイント
3. SAP Signavioの活用と効果

1. BPM (Business Process Management) とは？

Business Process を企業資産と捉え、
継続的に Management して、
改善・変革を推進していく活動、方法論を指す。



1. BPM (Business Process Management) のツール「SAP Signavio」

SAP Signavio は、Business Process を効率的かつ効果的に設計し、マネジメントしていくことを支援するツールである



2. BPMツール : SAP Signavioを効果的に利用するための3つのポイント

BPMツール : SAP Signavioを効果的に利用する

(もしくは利用効果を得るため) には以下の3つがポイントとなる

1. Business Process を磨き上げ、継続的に改善を行う
2. SaaS システムの合理的な導入を行う
3. 内部統制管理への活用及び強化を行う

2-1. Business Process を磨き上げ、継続的に改善を行う

Business Processを磨き上げ、企業の強みにする

企業の競争力の源泉は社内のBusiness Processにあるとされている。
新しい商品やサービスはすぐに競合他社にキャッチアップされるが、社内のBusiness Processを真似をすることはなかなかできない。

優れた商品を一度だけ世に出す事は比較的容易ですが、それを提供し続けるためには優れたBusiness Processが必要となる。

SAP Signavioを利用して、付加価値を生むBusiness Processに磨き上げ、企業の強みにしていくことが重要となる。

2-1. Business Process を磨き上げ、継続的に改善を行う

Business Processの継続的改善

- 企業を取り巻く外部環境の変化への迅速に柔軟な対応が求められる
- 変化対応力のある Business Process を構築しておくこと
- 迅速に対応するために Process Management を行っておくことが必要



2-2. SaaS システムの合理的な導入を行う

SaaSシステムの特徴

- 「つくる」から「つかう」へのシフト
- スピーディに利用可能
- システム費用の低減 など

- 定められた汎用的な Business Process Model
- 自由にカスタマイズができない
- 他の社内システムと連携しにくい

2-2. SaaS システムの合理的な導入を行う

SaaS システムを取り込むことの難しさ（大手企業にSaaSをうまく取り込む）

- 大手企業においてスタンドアロンでの利用は成り立たない
- 複雑な企業の Business Process の一部のみを刷新
- そのため、既存の Business Process との組み合わせ・連携が必要

SaaSシステム導入で企業の強みの Business Process を捨てる？

- SaaS システム + 強みのある既存の Business Process を融合させ、良い所取りをする

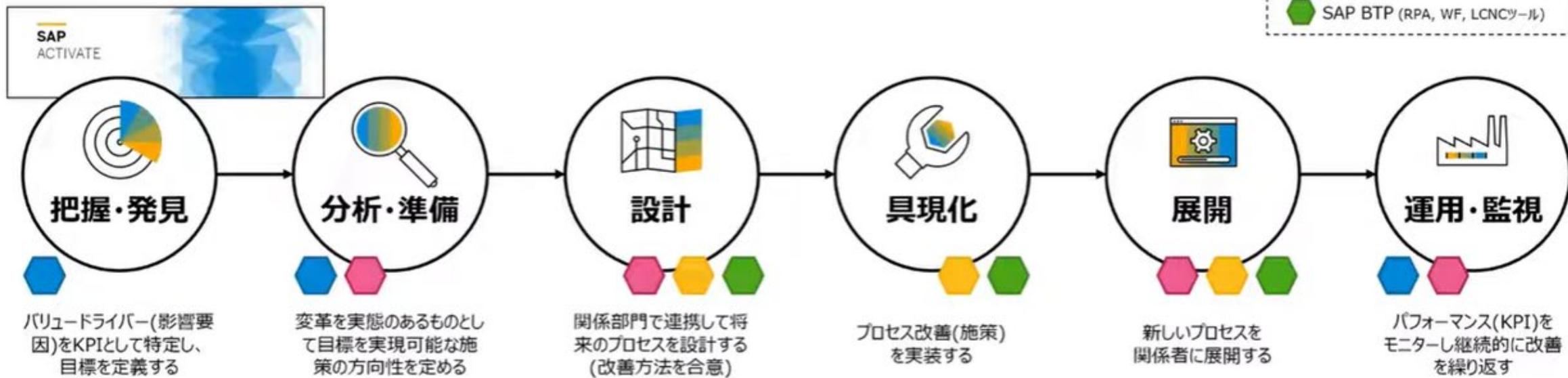
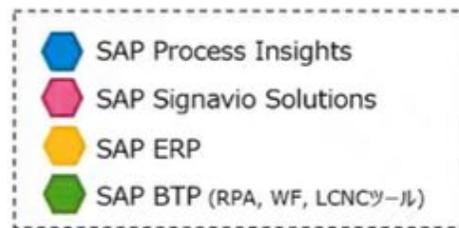
SaaS システム導入の救世主であるBPMツール

- BPMツールを利用することで、既存モデルとSaaS システムをプロセスレベルで組み合わせ、うまく取り入れていく

2-2. SaaS システムの合理的な導入を行う

SAP Activate を効率化する SAPソリューション の活用

SAP S/4HANA 導入/移行プロジェクトを支援する 導入方法論



ツール使用例

SAP Process Discovery / Insightsを使用して、パリウドライバに貢献する推奨事項を取得

SAP Signavio Process Collaboration Hubを使用して、スコープとタイムライン、マイルストーンの定義されたトランスフォーメーションジャーニーを作成

SAP Signavio Process Managerを使用して、プロセスの将来像を定義し、ビジネスへの影響をシミュレート

Solution Managerにプロセス定義を連携し、実装・テストを開始

SAP Signavio Process Collaboration Hubを使用して、プロセスについての信頼でける唯一の情報源を業務ユーザーに提供

SAP Process Insights と SAP Signavio Process Intelligenceを使用して、プロセスの稼働状況や、定義との適合性を監視

2-2. SaaS システムの合理的な導入を行う

BPMツールを利用して「既存 + SaaSモデル + 追加」で プロセスサービスを組み合わせ 新たな Business Process の見える化を構築する

既存の **Business Process**
(残すべきプロセス)

SaaSの **Business Process**
(外部標準を踏襲するプロセス)

追加する **Business Process**
(開発ツールによる改善プロセス)

システム連携基盤上でプロセスサービスにより組み合わせ

■ Business Process の組み合わせ例



2-3. 内部統制管理への活用及び強化を行う

内部統制文書

- 業務プロセス統制の文書化は、統制対象となる重要な勘定科目に関する業務の流れを掴み、業務における財務報告に係る虚偽記載リスクと対するコントロールを明確化することを目的とする。
- 作成した業務プロセス統制の文書化3点セットを基に、整備状況及び運用状況の評価が行われる。

■ 文書化3点セット

業務フロー

- 業務の流れをステップ（業務単位）毎に図式化した文書
- リスク及びコントロールの発生ステップを示した文書

業務記述書

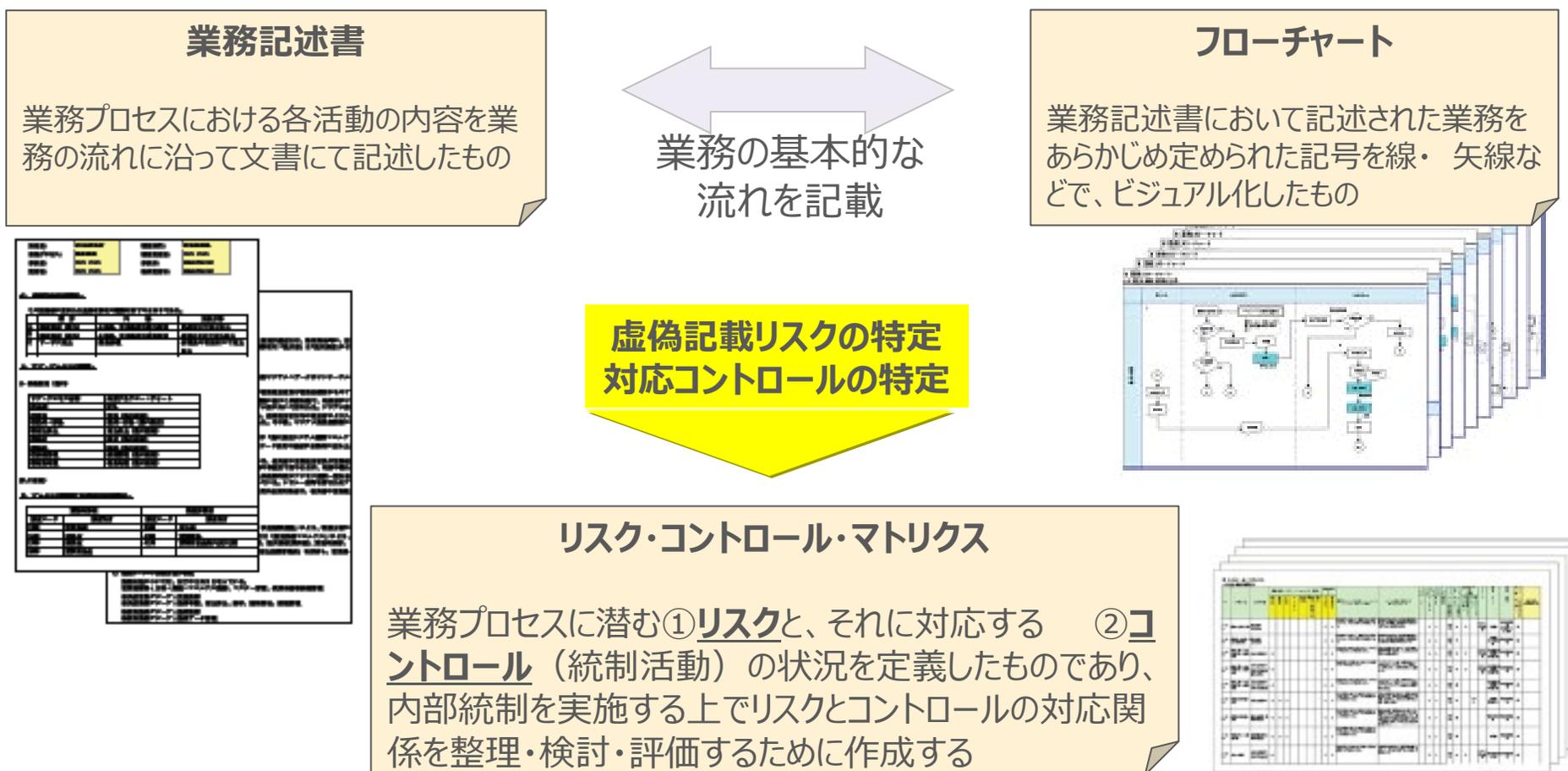
- 業務フローのステップ毎の業務内容を詳細に示した文書

リスクコントロール マトリクス (RCM)

- リスクとコントロールを紐付けて一覧に示した文書

2-3. 内部統制管理への活用及び強化を行う

Business Process 統制の文書化においては、業務記述書及び業務フローを作成し、Business Process を分析した上で、リスク・コントロール・マトリックスにリスクとそのコントロール、対応するアサーションの関係を整理してまとめる。



2-3. 内部統制管理への活用及び強化を行う

**Business Process の見える化（業務フロー図・プロセス記述）は
上場しているSOX対象企業においては統制文書として必須となるため、
ここから手を付けていくこと、整備していくことは行いやすい。**

SAP Signavio を利用して以下のような対応を合理的に実現していく

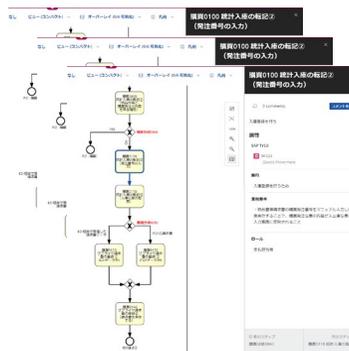
- **統制文書の作成、維持管理していくこと**
- **統制要件を取り込み効果的に反映させていくこと**
- **効果的コントロールとして「標準化、集約化、自動化」を推進していくこと**

3. SAP Signavioの活用と効果 : 業務プロセス整備方針

某企業におけるTo-BeのBusiness Processは、SAPのBestPracticeに根差すが、自社ならではの要素を組み込んだ自社としてのTo-Beであり、これを活用・統制・維持管理していくのがFit to Standardという方針で、そのアウトプットをSAP Signavioで整備



TMCにおけるTo-Beプロセス



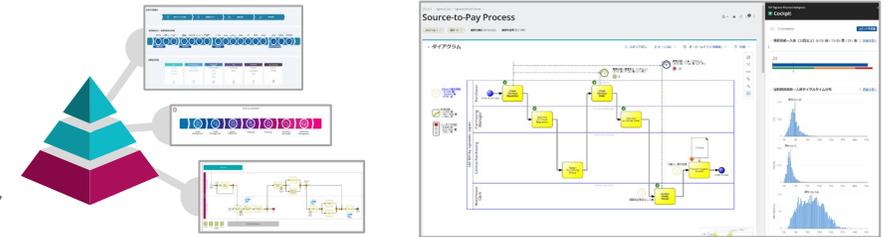
- ✓ SAP導入に合わせてプロセスを体系的に整備、今後のリファレンス化する
- ✓ 整備したプロセスをベースにリスク・コントロールも一緒に管理する
- ✓ システム導入後でもこれを継続して活用・統制・維持管理していく

3. SAP Signavioの活用と効果 : 業務プロセスのデジタル管理プラットフォーム

End to Endの業務プロセスをデジタルに可視化することで、関係者間でのプロセス共有や一元管理を支援
全体最適の視点で、継続的なプロセス改善を行うための一連のサイクルを支援

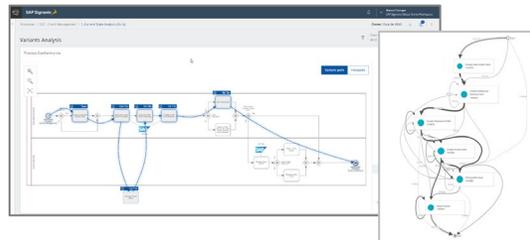
業務プロセスの構造化・一元管理

- 共通言語（BPMN2.0）で標準化されたプロセスの設計
- 業務プロセスに関わる情報を集約した「信頼できる」情報源
- 業務プロセスを中心とした、効率的な情報共有・コラボレーション



詳細な業務プロセス分析、改善施策への連携

- システムログから業務プロセスの実態を可視化
- 事前定義されたプロセスと、現状プロセスの適合性を確認
- 分析結果をもとにプロセスを再設計



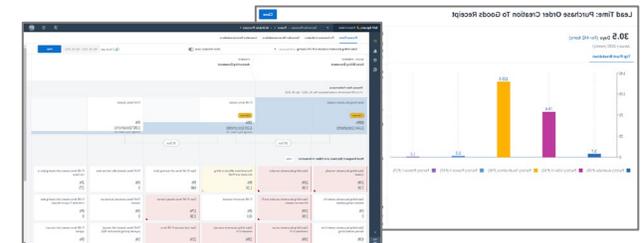
設計・共有

分析・改善

監視・発見

業務プロセスの目標・実績の把握

- 業務プロセスの性能指標をモニタリング
- SAP ERP を利用する他社ベンチマークと比較
- ボトルネック改善のための施策提案を確認



3. SAP Signavioの活用と効果 : 効率的で高度なプロセス設計

ダイアグラム自動生成機能や、豊富なテンプレートを活用し、プロセス管理の議論をクイックに開始。詳細化に向けては、直感的に操作が可能な高機能エディタを活用し、業務プロセスモデリングの精度を向上する。

概要

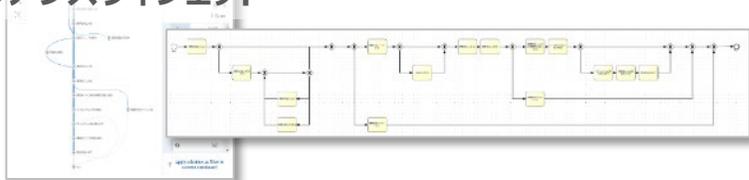
業務プロセス設計

詳細化

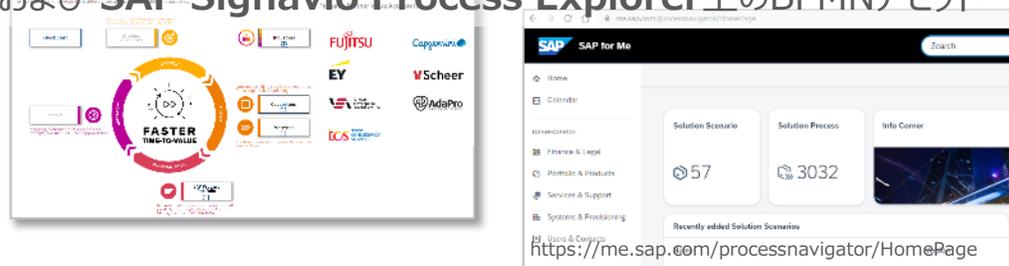
スプレッドシート形式のフォームへの記入操作でダイアグラムを自動生成するクイックモデル



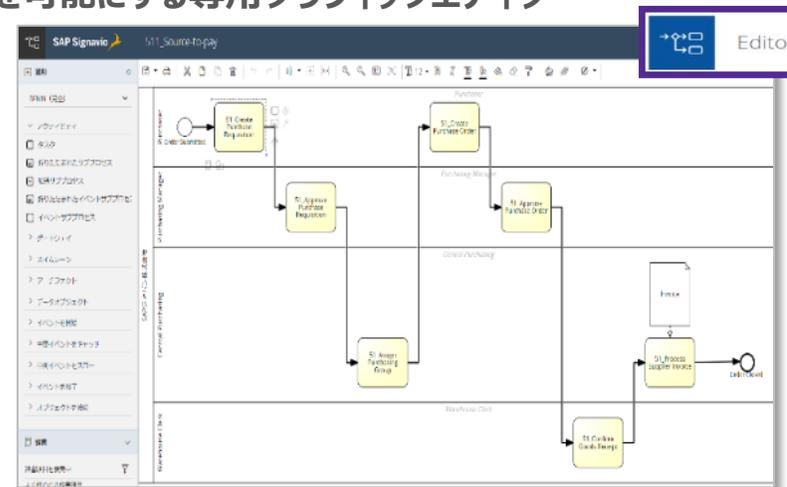
プロセスマイニングで検出されたデータフローからダイアグラムを自動生成するプロセスバリアンスウィジェット



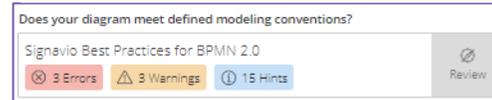
業務プロセス検討の入口として活用が可能な、SAP Signavio Process Navigator(旧BestPracticeExplorer)、および SAP Signavio Process Explorer上のBPMNアセット



ドラッグ&ドロップ、テキスト入力など、直感的な操作で効率的なモデリングを可能にする専用グラフィックエディタ



ダイアグラムに統一感を持たせ、成果物品質向上につながるBPMN2.0の準拠性チェック



プロセス設計品質を標準化する辞書リポジトリ

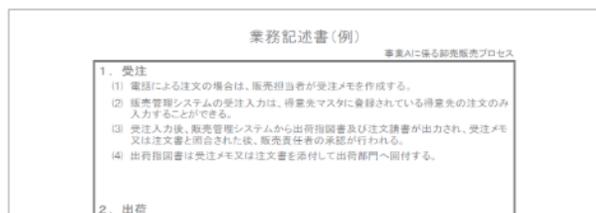


3. SAP Signavioの活用と効果：プロセス設計の高度化(レポートニング)

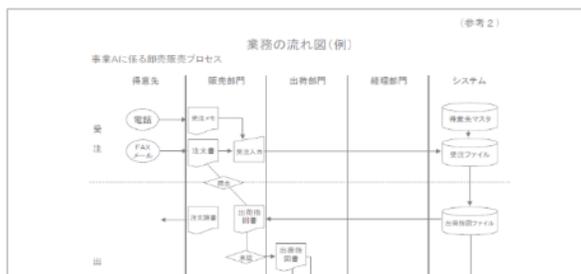
レポートニング機能活用例

モデリングしたBPMN図の属性情報管理により、J-SOX監査に必要な各種ドキュメントを一元的に管理することが可能。

業務記述書



業務プロセス

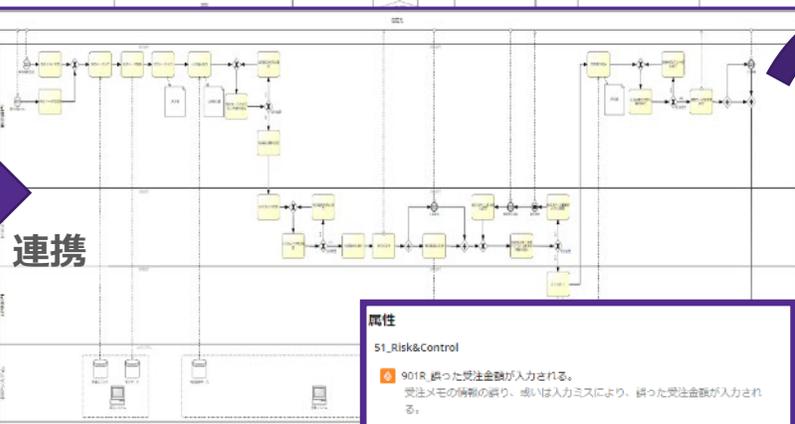


リスク&コントロールマトリクス

リスクと統制の対応 (例)

業務	リスクの内容	統制の内容	統制					評価	評価内容
			実施性	有効性	検出可能性	運用可能性	維持可能性		
受注	受注入力の手続きミスによる注文の誤り	注文書、出荷指図書は、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。全ての注文書は出荷指図書と照合された後、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。	○	○	○	○	○	○	-
受注	在庫管理システムからの在庫不足による出荷の遅延	在庫管理システムからの在庫不足は、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。全ての注文書は出荷指図書と照合された後、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。	○	○	○	○	○	○	-
請求	請求書の誤りによる請求額の誤り	請求書の作成は、システムからの請求データに基づき、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。全ての請求書は請求データと照合された後、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。	○	○	○	○	○	○	-
請求	請求書の誤りによる請求額の誤り	請求書の作成は、システムからの請求データに基づき、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。全ての請求書は請求データと照合された後、販売責任者の承認を受けた後、システムに登録される。	○	○	○	○	○	○	-

自動生成



バリューチェーンとしてビジュアライズ。単なる一覧ではなく、業務の流れとして可視化すると共に、個別の業務プロセスと紐付きを持たせることでドリルダウンして各業務プロセス図の呼び出しが可能。

属性情報を活用し、リスクやコントロールを業務プロセスとともに管理。関係者と共有。

属性

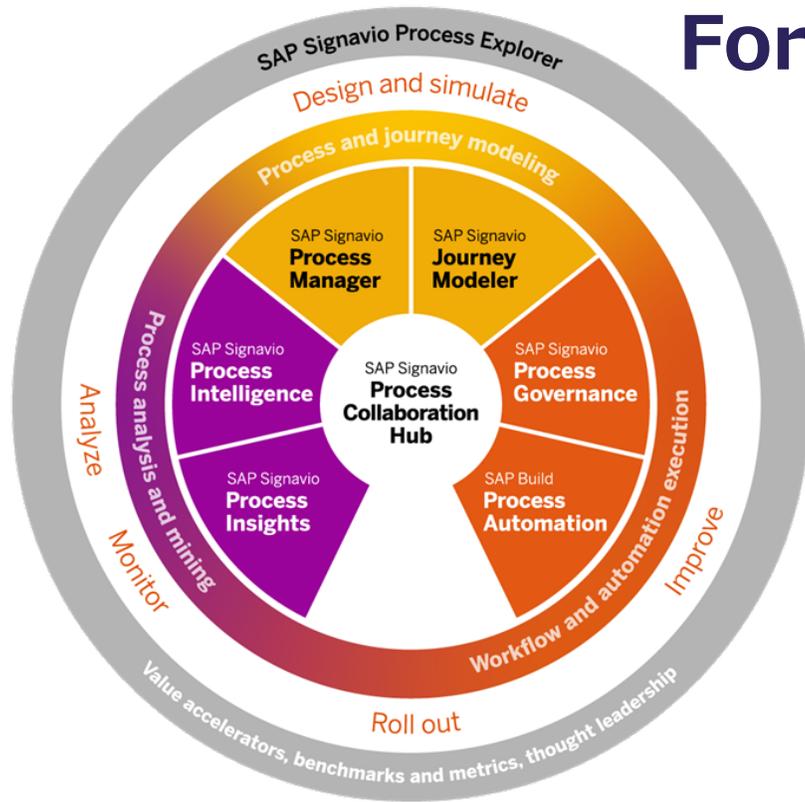
S1_Risk&Control

- 901R 誤った受注金額が入力される。受注メモの情報の誤り、または入力ミスにより、誤った受注金額が入力される。
- 901C 受注入力結果のクロスチェックを実施する。
- 901C 注文書と注文書の照合を実施する。
- 901R 与信限度額を超過した受注が発生する。信用できない得意先の受注や、事業規模からすると過大な受注が発生し、回収が不可となる。
- 901C 得意先マスタ上の与信限度額設定による入力バリデーションを設定...

レポート機能

レポート名	実行日時	実行ユーザー	実行場所	実行結果	実行内容	実行結果
リスク&コントロールマトリクス	2024/01/01 10:00	ユーザー	デスクトップ	成功	リスク&コントロールマトリクスを生成し、PDF形式で出力された。	成功

レポート機能を活用し、リスク/コントロールマトリクスを出力。



FortienceはBPMの推進を強力にサポートしていきます

BPM・SAP Signavio導入

BPM基盤構築支援サービス
SAP SignavioPoC検証支援サービス
SAP Signavio導入支援サービス

業務プロセス分析

業務モニタリング&改善支援サービス
プロセスマイニング・業務分析サービス
プロセスKPI設定支援サービス

業務プロセス可視化・設計

業務プロセス可視化サービス
業務プロセス設計支援サービス
業務プロセス改善支援サービス

内部統制構築

内部統制構築支援サービス
統制文書整備支援サービス
内部統制運用支援サービス

BPM・SAP Signavioを活用して BusinessProcessの改善・最適化を促進させていただきます

改訂履歴

2024年04月24日 | 初版公開

2025年10月01日 | 株式会社クニエから、フォーティエンスコンサルティング株式会社へ社名を変更したため、社名や会社情報、ブランド情報を変更

FORTIENCE
CONSULTING

お問い合わせ先

フォーティエンスコンサルティング株式会社

info@fortience.com
03-3517-2292
www.fortience.com